

その後の日野の民権家

明治10年代(1877~1886)の自由民権運動で日野地域は多摩の自由党の一拠点として注目されている。自由党员として高木吉蔵や日野義順をはじめ森久保作蔵ら15人が知られている。彼らは明治後半期、どのような道を歩んでいたのだろうか。

明治26年(1893)2月、政府は突然、神奈川県に属していた三多摩を東京府に移管するという法案を国会に提案した。理由は東京市民の飲用水である玉川上水の沿岸地域を東京府に組み込み、管理しやすいようにするためであった。三多摩自



▲扶桑社設立届(明治28年11月15日)

日野の歴史と民俗

由党の驚きは大きく、激しい反対運動を展開したが法案は国会を通過し、同年4月1日に東京府に編入された。
翌27年8月、わが国は日清戦争に突入した。国内は清国打倒で国民感情が高まっていった。森久保作蔵は、軍夫玉組を結成して戦場に参加していった。軍夫は軍隊に属して物を運ぶ人夫のことで、総勢は432人、その多くが壮士であった。ところが台湾の澎湖島に向かう途中でコレラが発生し、上陸後も疫病で多くの犠牲者をだした。

いた。日野や土方元吉、土方房五郎らもそのころ東京府から「養蚕」の篤志家(たくしけ)に選出されているのである。ここにはつきりと日野の民権家は政治に向かうものと地域産業の指導者を目指すものとの存在が明確にされている。
民権運動に始まる政治活動について、すべては是としていない森久保作蔵の発言は注目される。明治34年(1901)に刊行された『みなみたまのきょい』で森久保は、「我々南多摩郡(ノ教育ト実業トノ不振八事実テアル」として、立憲政体(りっけんせいだい)が優先して教育と実業の発展のために努力しなかつたばかり

が、その直後にロシアを始めとした三国干渉で、日本は清国から獲得した遼東半島を返還せざるを得なかつた。国民は大きな衝撃を受けたが、政府は国民に我慢するように強く訴えた。森久保はこの時、「国民の大決心を要すべき時機到来致し候」と日野の同志に伝えている。
ちょうど同じころ、日野では日野義順や佐藤信民らかつての民権家たちは、扶桑社を設立して養蚕技術者の養成を目指して

90
か、実は自然の発達をさえ妨げていた、と自らの責任を認めているのである。だから極力その挽回(ばんかい)に務めなければならぬとされている。事実、明治34年の南多摩郡の就学率は79・1%と全国平均88・1%より大きく落ち込んでいた。在地に根を下ろしていた日野の民権家たちは早くからこのことに気が付き、政治から産業の育成に転じて全面的に先頭にたつたのである。
(日野市古文書等歴史資料整理編集委員会委員 沼 謙吉)

まなぶの話題

「ななお」土曜のひろば「遊学会」が東京都から感謝状を受賞
東京都から「心の東京革命推進モデル事業」の認定を受けた「ななお」土曜のひろば「遊学会」が、去る10月4日に東京都知事より平成17年度の東京都青少年育成協力者等を対象とした感謝状を贈呈さ

れました。
講師は地域のおじさんおばさん(を合言葉に)、自然観察・科学講座、木工工作講座、初歩の電子工作講座、ふるさと歴史探検講座の4講座が開講され、異年齢が交流しながら、体験し、学ぶことで、子どもたちの知的育成と友達づくりを目標として、第2・第4土曜日に活動しています。
今後の活動を期待します。



平成17年度前期(9月末まで)日野市民体育大会の結果

市では、市民スポーツの普及と日頃の練習成果の発表の場として、市民体育大会を実施しています。今年度も9月までに13競技が終了しています。今回はその成績について報告します。後期も多くの競技がありますので、ぜひ参加してみませんか。募集の詳細は順次広報でお知らせします。
▷問合せ先=文化スポーツ課、日野市体育協会 (☎593-4740)

ゲートボール 6月5日
浅川スポーツ広場
清流会

バドミントン(家庭婦人大会)
5月19日 南平体育館
Aランク 横倉民子・高木富美子ペア
Bランク 川村容子・伊藤成子ペア
Cランク 足立道子・山内恭子ペア
新人戦 渡辺信枝・藤田久仁子ペア

アーチェリー
6月12日 市民陸上競技場
リカーブ男子 原 邦泰
リカーブ女子 小金井晴美
コンパウンド男子 近藤 均
コンパウンド女子 柳田一江
ジュニア男女 渡辺義弘

アクアスロン 7月9日
市民プールおよび浅川左岸遊歩道
Aタイプ(スイム150分・ラン1000分)
小学生男子低学年 清水友将
小学生男子高学年 金谷良太
小学生女子高学年 安藤雪乃
一般男子 河野俊英
一般女子 望月美和
Bタイプ(スイム300分・ラン2000分)
一般男子 奥山興士
一般女子 行木成江
40歳以上男子 望月光紀
Cタイプ(スイム75分・ラン1000分(親子))
小学生高学年 稲垣 正・高遠
小学生低学年 藤井恭平・浩一

水 泳 (☆大会新)

種目	9月4日	市民プール	
◆自由形50m(女子)	中学生 高瀬佳央里(28秒8☆) 40歳以上 橋本敦子(33秒6☆) 50歳以上 原 純子(40秒6) 一般 山田葉子(32秒2)	◆背泳ぎ50m(女子) 中学生 森田朝恵(39秒0) 30歳以上 高部桂子(42秒5☆) (男子) 中学生 若林昌平(35秒6☆) 30歳以上 中川 純(41秒1) 一般 金井裕太(35秒0)	◆個人メドレー200m 一般女子 佐藤彩香(3分23秒3) 一般男子 田野倉豪希(2分36秒7)
◆自由形100m(女子)	中学生 高瀬佳央里(1分2秒2☆) (男子) 中学生 佐久間一暉(58秒2) 一般 小岩嘉隆(57秒0)	◆バタフライ50m(女子) 中学生 中川めい(34秒7) 一般 宮島由里香(34秒2) (男子) 中学生 松崎卓也(31秒5☆) 30歳以上 根津正孝(33秒9) 一般 工藤成史(27秒4)	◆リレー200m(女子) 小学生 三小チーム(2分42秒1) 中学生 四中水泳部(2分13秒4) 一般 トムスイミング(2分28秒2) (男子) 小学生 二小(2分24秒0) 中学生 七生中水泳部(2分6秒3) 一般 チーム馬場商会(1分52秒5)
◆自由形50m(女子)	中学生 森田朝恵(42秒0) 30歳以上 高部桂子(44秒5) 40歳以上 橋本敦子(44秒4☆) 50歳以上 原 純子(47秒6)	◆メドレーリレー200m(女子) 中学生 二中(2分31秒7) 一般 トムスイミング(2分53秒1) (男子) 中学生 七生中水泳部(2分21秒9) 一般 M&A(2分8秒5)	
◆自由形100m(女子)	中学生 佐久間一暉(33秒7☆) 30歳以上 毛利郁史(34秒8) 40歳以上 穴吹達郎(41秒8) 50歳以上 藤田紀夫(49秒6) 一般 金井裕太(33秒8)	◆平泳ぎ50m(女子)	◆平泳ぎ100m(女子)
◆自由形100m(男子)	中学生 谷本悠祐(27秒4) 30歳以上 馬場元喜(27秒1☆) 40歳以上 穴吹達郎(32秒6) 50歳以上 藤田紀夫(37秒6) 一般 小岩嘉隆(26秒3)	◆平泳ぎ50m(男子)	◆平泳ぎ100m(男子)
◆自由形100m(男子)	中学生 馬場元喜(27秒1☆) 30歳以上 穴吹達郎(32秒6) 50歳以上 藤田紀夫(37秒6) 一般 小岩嘉隆(26秒3)	中学生 森田朝恵(42秒0) 30歳以上 高部桂子(44秒5) 40歳以上 橋本敦子(44秒4☆) 50歳以上 原 純子(47秒6)	中学生 森田朝恵(42秒0) 30歳以上 高部桂子(44秒5) 40歳以上 橋本敦子(44秒4☆) 50歳以上 原 純子(47秒6)
◆自由形100m(男子)	中学生 佐久間一暉(58秒2) 一般 小岩嘉隆(57秒0)	中学生 森田朝恵(42秒0) 30歳以上 高部桂子(44秒5) 40歳以上 橋本敦子(44秒4☆) 50歳以上 原 純子(47秒6)	中学生 森田朝恵(42秒0) 30歳以上 高部桂子(44秒5) 40歳以上 橋本敦子(44秒4☆) 50歳以上 原 純子(47秒6)

少年軟式野球
7月3日~31日
多摩川グラウンド
小学生 南平アトムズ
中学生 七生レインボー

卓球(ラージボール) 9月19日
南平体育館
初心者ダブルス 廣島とし子・和井田さかえペア
男子シングルス(59歳以下) 吉野政一
(60歳以上) 石井元旦
女子シングルス 吉崎美恵子
男子ダブルス 吉野政一・吉田光生ペア
女子ダブルス 松沢孝子・吉崎美恵子ペア
混合ダブルス 石井元旦・田中淳子ペア
初心者シングルス 田口 武

一般男女6人制 9月25日
南平体育館ほか
男子 中央大学A
女子 ジョリーメイツ
中学生 9月19日
大坂上中体育館
女子 三中A
家庭婦人9人制 9月4日
南平体育館
多摩平

ソフトボール
7月17日~8月21日
万願寺グラウンドほか
男子1部 百草ファミリーズ
男子2部 三井台ワールドウッズ
一般女子 リトルウイング

グラウンド・ゴルフ 9月23日
浅川スポーツ広場
男子 新村良金 女子 山川シズエ

少林寺拳法演武 9月23日 南平体育館
◆小学生低学年白・黄帯単演 稲垣祐一
◆組演武小学生低学年 永井隆之、佐々木勇輝
小学生高学年 松浦佳純、篠崎春菜
大 学 生 鳥田結衣、丹 浩子
中 学 ・ 高 校 生 小川貴弘、古内直人
一 般 中安 正、津田理樹